

（ 奈良県の「梅イベント」 ）

春の訪れを告げる梅の花。奈良県各地で梅まつりや盆梅展が2月から行われている。

■菅原の里「盆梅展」(2月5日～3月5日)

奈良市西部の寺社の観光を活性化させようという話が持ち上がり、菅原天満宮は菅公御誕生所ということから、隣接の喜光寺とタイアップして平成13年に本格的な盆梅展を始めた。中村宮司の話によると「盆梅を集めるのに東奔西走して苦勞した末、東京都立農林高等学校(青梅市)が梅の品種を300種以上保有していると知り、宮司が同校と付き合いのある造園業者から苗を買い、同神社で120種類の梅を集めて栽培をしている」とのこと。今年は200鉢を展示した。

■大和郡山市「盆梅展」(2月10日～3月12日)

平成16年、同市の市制50周年を記念して始めたもので、冬の観光資源として育てている。

1724年に甲府から柳澤吉里が郡山へ国替えされた時、甲府に梅林があったので、吉里が追手門を梅林門と呼ばせたことから、この盆梅展を始めた経緯にある。今年は、梅の盆栽約100点を展示した。

■月ヶ瀬「梅まつり」(2月11日～3月31日)

大正11年に国の名勝指定を受けた月ヶ瀬梅林は、名張川をはさんで両側に梅林が広がり、V字溪谷と梅林が融和した風景は、多くの観光客を引き付けている。

梅林は、1205年尾山天神社を真福寺境内に祀り、祭神菅原道真公にちなみ、梅樹を栽植したことが始まりと言われている。

期間中、「梅溪写真展」、「写真コンクール」が催されているほか、「俳句大会」(3月10日)「煎茶会」(3月12日)「天神社知恵餅まき」(3月21日)なども行われる。

例年、3月下旬まで見られる梅林は、下市町の「広橋梅林」大和郡山市の「大和民俗公園」などです。お問い合わせの上、お出かけ下さい。

(上田)



菅原の里「盆梅展」



大和郡山市「盆梅展」



月ヶ瀬「梅まつり」

(写真提供：奈良市月ヶ瀬観光会館)

これからの主な催し

〔主な行事〕

● 3月19日(日)

若草山 若草山山開き記念

第14回鹿せんべいとばし大会

特大の鹿せんべいを、大人も子供も一緒に1枚ずつ飛ばす競技。個人戦、団体戦あり。

近鉄奈良駅からバス7分 大仏殿春日大社前

下車 徒歩20分

● 4月11日～12日(火、水)

金峯山寺 花供会式

花供会式(花供懺法会)は、吉野山の桜が最も見ごろとなるこの時期に、吉野山の桜を金

峯山寺の本尊・蔵王権現にお供えという、春の吉野山が最も賑わう行事。吉野山の桜は、開祖役小角が感得した蔵王権現を桜の木に刻んだことからご神木となり、献木され、保護されてきたもの。この行事は両日も正午より十萬石の格式を持つ奴行列を先頭に、一山僧侶、稚児、山伏、信徒らが行列を整えて竹林院から蔵王堂まで練り歩く。そして法要を終えたのち蔵王堂境内で採灯大護摩供を勤修し、「千本づき」でつかれた餅がまかれる。

近鉄 吉野駅よりロープウェイに乗換え
吉野山駅下車 徒歩10分